

VII 観光動態調査ルート分析

1. はじめに

● 報告書について

この報告書は令和7年に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成した(P133:2. 立寄市町村割合)。また、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析した(P141:3. 周遊ルート分析)ものである。

● 調査地点について

高知県内の観光地(10 地点:室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬)でアンケート調査を実施している。

● 発地ブロックについて

- 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。
各発地ブロックは以下の通りである。

北海道・東北	:北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	:茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟	:新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海	:山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿	:三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	:徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外	:すべての海外旅行者

2. 立寄市町村割合

● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した(する予定の)観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
 - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ(%表記)は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。
そのため、合計が100%にならない場合がある。
 - 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知等	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

● 調査結果の概要

立寄観光地の延べ件数(P135-136)は、10,500 件となり、前年度の 9,998 件と比べ 5.0 ポイントの増加となっている。県内 16 地域の立寄数は、「高知」が 36.2%と最も多く、次いで「南国・香美」が 11.9%、「東洋・室戸」が 9.2%、「土佐清水・大月」が 8.2%、「黒潮・四万十市」が 7.9%と続いている。この上位5地域で全体の 73.4%を占めている。

発地ブロック別(P135-136)にみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。次いで、北海道・東北と九州・沖縄は「土佐清水・大月」、甲信・東海は「東洋・室戸」、海外は「黒潮・四万十市」、その他のブロックは「南国・香美」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、北海道・東北が 3.6 件と最も多く、四国が 2.0 件と最も少なくなっている。

年代別(P137)にみると、すべての年代で「高知」が最も多くなっている。次いで、10 代から 40 代は「南国・香美」、50 代と 60 代以上は「東洋・室戸」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、50 代が 2.7 件と最も多く、10 代が 2.0 件と最も少なくなっている。

旅行形態別(P138)にみると、すべての旅行形態で「高知」が最も多くなっている。次いで、家族と団体は「南国・香美」、一人は「東洋・室戸」、友人・知人は「いの」、その他は「土佐清水・大月」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、家族と友人・知人がともに 2.7 件と最も多く、団体が 2.2 件と最も少なくなっている。

旅行目的別(P139-P140)にみると、神仏霊場は「東洋・室戸」、それ以外の旅行目的は「高知」が最も多くなっている。平均立寄数は、神仏霊場が 3.4 件と最も多く、買い物が 1.9 件と最も少なくなっている。

2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1)発地別立寄市町村割合(件)[発地ブロック別]

	01 東洋 室戸	02 奈半利 田野 等	03 安芸 芸西	04 香南	05 南国 香美	06 本山 大豊 等	07 高知	08 いの	09 土佐 日高	10 佐川 越知 等	11 須崎 中土佐	12 梶原 津野	13 四万 十町	14 黒潮 四万 十市	15 宿毛 三原	16 土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
北海道・東北 (n=38)	15	4			6		70	7		2		2	1	10	3	18	138	1.3	3.6
関東 (n=510)	97	91	10	19	150	3	802	116	5	12	53	32	17	147	9	140	1,703	16.2	3.3
北陸・新潟 (n=24)	7	3		1	12		40	2			2		1	8	1	4	81	0.8	3.4
甲信・東海 (n=198)	66	18	5	6	60	1	308	32	3	4	15	21	4	59	2	51	655	6.2	3.3
近畿 (n=843)	231	124	15	36	323	6	1,065	119	10	21	101	56	36	229	29	218	2,619	24.9	3.1
中国 (n=417)	98	57	10	30	163	4	516	67	1	14	48	11	15	79	7	92	1,212	11.5	2.9
四国 (n=1,813)	408	315	36	92	488	14	785	351	12	26	423	19	66	243	33	289	3,600	34.3	2.0
九州・沖縄 (n=146)	45	16	3	5	44		195	24	1	4	10	7	6	47	3	49	459	4.4	3.1
海外 (n=11)	1	1		1	2		20						1	5		2	33	0.3	3.0
全体 (n=4,000)	968	629	79	190	1,248	28	3,801	718	32	83	652	148	147	827	87	863	10,500	100.0	2.6

(表 2-2)発地別立寄市町村割合(%) [発地ブロック別]

	01 東洋 室戸	02 奈半利 田野 等	03 安芸 芸西	04 香南	05 南国 香美	06 本山 大豊 等	07 高知	08 いの	09 土佐 日高	10 佐川 越知 等	11 須崎 中土佐	12 梶原 津野	13 四万 十町	14 黒潮 四万 十市	15 宿毛 三原	16 土佐 清水 大月
北海道・東北 (n=38)	10.9	2.9			4.3		50.7	5.1		1.4		1.4	0.7	7.2	2.2	13.0
関東 (n=510)	5.7	5.3	0.6	1.1	8.8	0.2	47.1	6.8	0.3	0.7	3.1	1.9	1.0	8.6	0.5	8.2
北陸・新潟 (n=24)	8.6	3.7		1.2	14.8		49.4	2.5			2.5		1.2	9.9	1.2	4.9
甲信・東海 (n=198)	10.1	2.7	0.8	0.9	9.2	0.2	47.0	4.9	0.5	0.6	2.3	3.2	0.6	9.0	0.3	7.8
近畿 (n=843)	8.8	4.7	0.6	1.4	12.3	0.2	40.7	4.5	0.4	0.8	3.9	2.1	1.4	8.7	1.1	8.3
中国 (n=417)	8.1	4.7	0.8	2.5	13.4	0.3	42.6	5.5	0.1	1.2	4.0	0.9	1.2	6.5	0.6	7.6
四国 (n=1,813)	11.3	8.8	1.0	2.6	13.6	0.4	21.8	9.8	0.3	0.7	11.8	0.5	1.8	6.8	0.9	8.0
九州・沖縄 (n=146)	9.8	3.5	0.7	1.1	9.6		42.5	5.2	0.2	0.9	2.2	1.5	1.3	10.2	0.7	10.7
海外 (n=11)	3.0	3.0		3.0	6.1		60.6						3.0	15.2		6.1
全体 (n=4,000)	9.2	6.0	0.8	1.8	11.9	0.3	36.2	6.8	0.3	0.8	6.2	1.4	1.4	7.9	0.8	8.2

※ 白抜き はブロックで1位、太字 は同2位

(表 2-3)発地別立寄市町村割合(%) [四国]

	東洋 室戸	奈半利 田野 等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊 等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知 等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県 (n=171)	19.9	10.7	1.5	3.9	15.3	0.5	29.8	2.9	0.2	1.0	3.9	0.5	1.7	3.1	1.0	4.4
香川県 (n=290)	13.7	6.8	0.8	3.0	13.0	0.6	26.8	5.5	0.1	0.8	10.1	0.7	3.3	6.4	1.4	6.9
愛媛県 (n=489)	8.6	6.6	0.7	3.2	15.3	0.4	26.4	9.9	0.6	1.1	8.6	0.9	1.7	6.0	1.1	8.6
高知県 (n=863)	9.7	11.1	1.2	1.3	11.8	0.2	12.5	14.0	0.2	0.2	17.8	0.2	1.1	8.7	0.5	9.3
四国 (n=1,813)	11.3	8.8	1.0	2.6	13.6	0.4	21.8	9.8	0.3	0.7	11.8	0.5	1.8	6.8	0.9	8.0

・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で 10,500 件となっている。発地ブロック別にみると、四国が 3,600 件(34.3%)と最も多く、次いで、近畿が 2,619 件(24.9%)、関東が 1,703 件(16.2%)、中国が 1,212 件(11.5%)と続いている。

平均立寄数は全体で 2.6 件となっている。発地ブロック別にみると、北海道・東北が 3.6 件と最も多く、次いで、北陸・新潟が 3.4 件、関東と甲信・東海が 3.3 件、近畿と九州・沖縄が 3.1 件、海外が 3.0 件、中国が 2.9 件と続いており、四国が 2.0 件と最も少なくなっている。

・上位を占めた立寄市町村

立寄った観光地の市町村をみると、「高知」が 3,801 件(36.2%)と最も多く、次いで「南国・香美」が 1,248 件(11.9%)、「東洋・室戸」が 968 件(9.2%)、「土佐清水・大月」が 863 件(8.2%)、「黒潮・四万十市」が 827 件(7.9%)と続いている。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄った観光地の市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。2番目に多くなった市町村は、北海道・東北、九州・沖縄は「土佐清水・大月」、甲信・東海は「東洋・室戸」、海外は「黒潮・四万十市」、その他のブロックが「南国・香美」となっている。

なお、県内旅行者は「須崎・中土佐」「いの」「高知」の順で多くなっている(P135:表 2-3)。

2-2. 年代別立寄市町村割合

(表 2-4)年代別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=58)	2	4	2	3	21		57	7		1	4			7	2	7	117	1.1	2.0
20代 (n=412)	68	61	10	17	131	2	421	95	1	10	69	29	8	85	3	73	1,083	10.3	2.6
30代 (n=580)	118	52	10	35	247	4	546	81	2	7	87	19	13	130	8	123	1,482	14.1	2.6
40代 (n=800)	162	73	12	49	309	6	796	131	7	14	136	32	30	147	11	143	2,058	19.6	2.6
50代 (n=1,011)	291	174	22	36	254	6	988	172	8	21	188	33	44	248	21	240	2,746	26.2	2.7
60代以上 (n=1,139)	327	265	23	50	286	10	993	232	14	30	168	35	52	210	42	277	3,014	28.7	2.6
全体 (n=4,000)	968	629	79	190	1,248	28	3,801	718	32	83	652	148	147	827	87	863	10,500	100.0	2.6

(表 2-5)年代別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=58)	1.7	3.4	1.7	2.6	17.9		48.7	6.0		0.9	3.4			6.0	1.7	6.0			
20代 (n=412)	6.3	5.6	0.9	1.6	12.1	0.2	38.9	8.8	0.1	0.9	6.4	2.7	0.7	7.8	0.3	6.7			
30代 (n=580)	8.0	3.5	0.7	2.4	16.7	0.3	36.8	5.5	0.1	0.5	5.9	1.3	0.9	8.8	0.5	8.3			
40代 (n=800)	7.9	3.5	0.6	2.4	15.0	0.3	38.7	6.4	0.3	0.7	6.6	1.6	1.5	7.1	0.5	6.9			
50代 (n=1,011)	10.6	6.3	0.8	1.3	9.2	0.2	36.0	6.3	0.3	0.8	6.8	1.2	1.6	9.0	0.8	8.7			
60代以上 (n=1,139)	10.8	8.8	0.8	1.7	9.5	0.3	32.9	7.7	0.5	1.0	5.6	1.2	1.7	7.0	1.4	9.2			
全体 (n=4,000)	9.2	6.0	0.8	1.8	11.9	0.3	36.2	6.8	0.3	0.8	6.2	1.4	1.4	7.9	0.8	8.2			

※ 白抜き は年代で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、60代以上が3,014件(28.7%)と最も多く、次いで、50代が2,746件(26.2%)、40代が2,058件(19.6%)、30代が1,482件(14.1%)、20代が1,083件(10.3%)、10代が117件(1.1%)と続いている。

平均立寄数は、50代が2.7件と最も多く、次いで20代・30代・40代・60代以上が2.6件、10代が2.0件と続いている。

・年代ごとの立寄市町村の傾向

すべての年代で「高知」が最も多く、若年層のほうが占める割合は多くなっている。次いで、10代から40代までは「南国・香美」が、50代と60代以上は「東洋・室戸」が多くなっている。

- 10代:「高知」「南国・香美」などで年代別1位。
- 20代:「いの」「梶原・津野」で年代別1位。
- 30代:「香南」「南国・香美」「黒潮・四万十市」で年代別2位。
- 40代:「須崎・中土佐」などで年代別2位。
- 50代:「須崎・中土佐」「黒潮・四万十市」で年代別1位。
- 60代以上:「東洋・室戸」「奈半利・田野等」「土佐清水・大月」などで年代別1位。

2-3. 旅行形態別立寄市町村割合

(表 2-6)旅行形態別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,741)	637	437	55	150	1,008	16	2,636	438	17	65	463	92	103	577	55	527	7,276	69.3	2.7
友人・知人 (n=593)	106	94	13	22	139	7	659	150	4	12	104	25	16	139	5	117	1,612	15.4	2.7
団体 (n=17)		6			9		18			1				1		3	38	0.4	2.2
その他 (n=16)	3	3			2		21							3		4	36	0.3	2.3
一人 (n=633)	222	89	11	18	90	5	467	130	11	5	85	31	28	107	27	212	1,538	14.6	2.4
全体 (n=4,000)	968	629	79	190	1,248	28	3,801	718	32	83	652	148	147	827	87	863	10,500	100.0	2.6

(表 2-7)旅行形態別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,741)	8.8	6.0	0.8	2.1	13.9	0.2	36.2	6.0	0.2	0.9	6.4	1.3	1.4	7.9	0.8	7.2			
友人・知人 (n=593)	6.6	5.8	0.8	1.4	8.6	0.4	40.9	9.3	0.2	0.7	6.5	1.6	1.0	8.6	0.3	7.3			
団体 (n=17)		15.8			23.7		47.4			2.6				2.6		7.9			
その他 (n=16)	8.3	8.3			5.6		58.3							8.3		11.1			
一人 (n=633)	14.4	5.8	0.7	1.2	5.9	0.3	30.4	8.5	0.7	0.3	5.5	2.0	1.8	7.0	1.8	13.8			
全体 (n=4,000)	9.2	6.0	0.8	1.8	11.9	0.3	36.2	6.8	0.3	0.8	6.2	1.4	1.4	7.9	0.8	8.2			

※ 白抜き は旅行形態で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、家族が 7,276 件(69.3%)と最も多く、次いで、友人・知人が 1,612 件(15.4%)、一人が 1,538 件(14.6%)、団体が 38 件(0.4%)、その他が 36 件(0.3%)と続いている。

平均立寄数は、家族と友人・知人がともに 2.7 件と最も多く、次いで、一人が 2.4 件、その他が 2.3 件、団体が 2.2 件と続いている。

・旅行形態ごとの立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多く、次いで、家族と団体は「南国・香美」、一人は「東洋・室戸」、友人・知人は「いの」、その他は「土佐清水・大月」と続いている。

- 家族:「安芸・芸西」「香南」で旅行形態別1位。
- 友人・知人:「いの」「須崎・中土佐」「黒潮・四万十市」などで旅行形態別1位。
- 団体:「奈半利・田野等」「南国・香美」「佐川・越知等」で旅行形態別1位。
- その他:「高知」で旅行形態別1位。
- 一人:「東洋・室戸」「土佐清水・大月」「四万十町」などで旅行形態別1位。

2-4. 旅行目的別立寄市町村割合

(表 2-8)旅行目的別立寄市町村割合(件)

	01 東洋 室戸	02 奈半利 田野 等	03 安芸 芸西	04 香南	05 南国 香美	06 本山 大豊 等	07 高知	08 いの	09 土佐 日高	10 佐川 越知 等	11 須崎 中土佐	12 橋原 津野	13 四万 十町	14 黒潮 四万 十市	15 宿毛 三原	16 土佐 清水 大月	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
自然見物 (n=1,025)	273	343	33	31	226	6	806	202		34	40	55	16	302	4	322	2,693	25.6	2.6
休養 (n=146)	36	19	1	5	34	2	105	37	2	2	40	2	4	12	1	10	312	3.0	2.1
祭り (n=69)	9	11	1	13	16		76	8			14	1		5		31	185	1.8	2.7
アウトドア (n=101)	8	3	3	4	7	3	60	33	1	3	24	5	6	39	2	35	236	2.2	2.3
スポーツ (n=29)	3		2	2	10		23	9		1	3			2		2	57	0.5	2.0
食べ物 (n=826)	135	71	9	31	196	5	1,084	158	2	19	320	31	24	153	3	91	2,332	22.2	2.8
神仏霊場 (n=200)	214	55	1	11	51		54	4	23	2	3		57	11	72	130	688	6.6	3.4
買い物 (n=125)	23	1	1	1	9		71	43	2	1	43	1	4	41	1	1	243	2.3	1.9
名所旧跡 (n=889)	137	91	19	74	538	4	1,130	93	2	15	68	34	17	112	1	130	2,465	23.5	2.8
なんとなく (n=210)	71	10	5	4	35	5	79	57		2	30	12	5	58	1	54	428	4.1	2.0
ワーケーション																			
観光・その他 (n=28)	4	2	2	2	11		20	6		1	1		3	9		4	65	0.6	2.3
帰省・仕事 (n=326)	51	19	1	10	99	3	256	55		2	61	6	11	81	2	48	705	6.7	2.2
その他 (n=46)	4	4	1	2	16		37	13		1	5	1		2		5	91	0.9	2.0
全体 (n=4,000)	968	629	79	190	1,248	28	3,801	718	32	83	652	148	147	827	87	863	10,500	100.0	2.6

(表 2-9)旅行目的別立寄市町村割合(%)

	01 東洋 室戸	02 奈半利 田野 等	03 安芸 芸西	04 香南	05 南国 香美	06 本山 大豊 等	07 高知	08 いの	09 土佐 日高	10 佐川 越知 等	11 須崎 中土佐	12 橋原 津野	13 四万 十町	14 黒潮 四万 十市	15 宿毛 三原	16 土佐 清水 大月			
自然見物 (n=1,025)	10.1	12.7	1.2	1.2	8.4	0.2	29.9	7.5		1.3	1.5	2.0	0.6	11.2	0.1	12.0			
休養 (n=146)	11.5	6.1	0.3	1.6	10.9	0.6	33.7	11.9	0.6	0.6	12.8	0.6	1.3	3.8	0.3	3.2			
祭り (n=69)	4.9	5.9	0.5	7.0	8.6		41.1	4.3			7.6	0.5		2.7		16.8			
アウトドア (n=101)	3.4	1.3	1.3	1.7	3.0	1.3	25.4	14.0	0.4	1.3	10.2	2.1	2.5	16.5	0.8	14.8			
スポーツ (n=29)	5.3		3.5	3.5	17.5		40.4	15.8		1.8	5.3			3.5		3.5			
食べ物 (n=826)	5.8	3.0	0.4	1.3	8.4	0.2	46.5	6.8	0.1	0.8	13.7	1.3	1.0	6.6	0.1	3.9			
神仏霊場 (n=200)	31.1	8.0	0.1	1.6	7.4		7.8	0.6	3.3	0.3	0.4		8.3	1.6	10.5	18.9			
買い物 (n=125)	9.5	0.4	0.4	0.4	3.7		29.2	17.7	0.8	0.4	17.7	0.4	1.6	16.9	0.4	0.4			
名所旧跡 (n=889)	5.6	3.7	0.8	3.0	21.8	0.2	45.8	3.8	0.1	0.6	2.8	1.4	0.7	4.5	0.0	5.3			
なんとなく (n=210)	16.6	2.3	1.2	0.9	8.2	1.2	18.5	13.3		0.5	7.0	2.8	1.2	13.6	0.2	12.6			
ワーケーション																			
観光・その他 (n=28)	6.2	3.1	3.1	3.1	16.9		30.8	9.2		1.5	1.5		4.6	13.8		6.2			
帰省・仕事 (n=326)	7.2	2.7	0.1	1.4	14.0	0.4	36.3	7.8		0.3	8.7	0.9	1.6	11.5	0.3	6.8			
その他 (n=46)	4.4	4.4	1.1	2.2	17.6		40.7	14.3		1.1	5.5	1.1		2.2		5.5			
全体 (n=4,000)	9.2	6.0	0.8	1.8	11.9	0.3	36.2	6.8	0.3	0.8	6.2	1.4	1.4	7.9	0.8	8.2			

※ 白抜き は旅行目的で 1 位、太字 は同 2 位

・立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、自然見物が 2,693 件(25.6%)と最も多く、次いで、名所旧跡が 2,465 件(23.5%)、食べ物が 2,332 件(22.2%)、帰省・仕事が 705 件(6.7%)、神仏霊場が 688 件(6.6%)などと続いている。

平均立寄数は、神仏霊場が 3.4 件と最も多く、次いで、名所旧跡と食べ物がともに 2.8 件、祭りが 2.7 件、自然見物が 2.6 件、アウトドアと観光・その他がともに 2.3 件などと続いている。

・旅行目的ごとの立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めているが、神仏霊場では「東洋・室戸」が最も多くなっている。

次いで、自然見物では「奈半利・田野等」が、名所旧跡など5項目では「南国・香美」が、食べ物と休養では「須崎・中土佐」が、なんとなくでは「東洋・室戸」が、神仏霊場と祭りでは「土佐清水・大月」が、買い物では「いの」「須崎・中土佐」が、アウトドアでは「黒潮・四万十市」が、それぞれ2番目に多くなっている。

- 自然見物(n=1,025):「奈半利・田野等」で旅行目的別1位。
- 名所旧跡(n=869):「南国・香美」で旅行目的別1位。
- 食べ物(n=826):「高知」で旅行目的別1位。
- 帰省・仕事(n=326):顕著な傾向は見られない。
- なんとなく(n=210):「梶原・津野」で旅行目的の1位。
- 神仏霊場(n=200):「東洋・室戸」「土佐清水・大月」「四万十町」などで旅行目的別1位。
- 休養(n=146):「いの」「須崎・中土佐」などで全体平均を上回っている。
- 買い物(n=125):「いの」「須崎・中土佐」などで旅行目的別1位。
- アウトドア(n=101):「本山・大豊等」で旅行目的別1位。
- 祭り(n=69):「香南」で旅行目的別1位。

3. 周遊ルート分析

● 報告内容について

この項目では、令和7年観光統計調査で得られた、「訪問した(する予定の)観光地」データを基に、旅行者(発地ブロック別、旅行形態別)がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その周遊性の高いルートを分析している。

● 集計方法について

- ・ 「訪問した(する予定の)観光地」を下記の周遊7エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。
※例 「高知市」-「高知市」-「東部」の場合、「高知市」-「東部」として集計。
- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の5ブロックからは入込が少数のため、この5ブロックを合計し、“その他の地域ブロック”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

● 周遊7エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村
物部川 : 香南市、南国市、香美市
高知市 : 高知市
仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町
高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町
嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

● 調査結果の概要

県外旅行者全体の周遊ルート(P143)は、「高知市」のみが12.3%と最も多く、上位4位までを単一エリアで観光を終える周遊ルートが占めている。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

発地ブロックごとの特徴

- **四国:**「高知市」以外の単一エリアで観光を終える周遊ルートが県外の発地別で最多、「高知市」のみは最少。「高知市」から「東部」あるいは「幡多」へ向かう周遊ルートも最少。(P145・146)
- **近畿:**「高知市」と「物部川」あるいは「東部」と組み合わせた周遊ルートは県外の発地別で最多もしくは次点。(P147・148)
- **中国:**単一エリアで観光を終える周遊ルートが県外の発地別で四国に次いで次点。「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートも最多もしくは次点。(P149・150)
- **関東:**「高知市」のみと「東部→高知市」が県外の発地別で最多。「東部のみ」、「幡多」のみ、「高知市→物部川」は最少。(P151・152)
- **その他の地域ブロック:**「高知市→物部川」と「高知市→幡多」が県外の発地別で最多。「物部川」のみ、「高幡」のみ、「物部川→高知市」などは最少。(P153・154)
- **高知県:**単一エリアで観光を終える周遊ルートで94.6%を占め、他エリアへの移動を伴う周遊ルートの割合はわずかとなっている。(P155・156)

旅行形態ごとの特徴

- **家族:**「物部川」のみが旅行形態別で最多。「高知市」のみと「幡多」のみは最少。(P157・158)
- **友人・知人:**「高幡」のみ、「東部→高知市」、「高知市→幡多」が旅行形態別で最多。「東部」のみは最少。(P159・160)
- **団体:**「高知市」のみ、「東部」のみ、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが旅行形態別で最多。「高幡のみ」、「高知市」と「東部」を組み合わせた周遊ルート、「高知市→幡多」は最少。(P161・162)
- **一人:**「幡多」のみと「高知市→東部」が旅行形態別で最多。「物部川」のみ、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートは最少。(P163・164)

3-1. 発地別周遊ルート

3-1-1. 県外旅行者全体

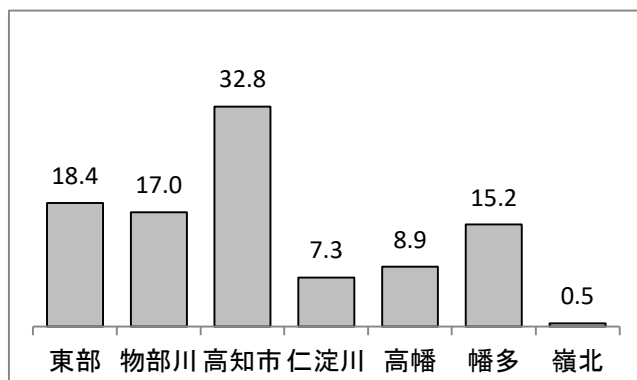
(表 3-1)周遊ルート上位 10 位(件・%) [県外全体]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					385	12.3%
東部					267	8.5%
幡多					263	8.4%
物部川					194	6.2%
物部川	→	高知市			183	5.8%
高知市	→	物部川			153	4.9%
高幡					112	3.6%
東部	→	高知市			92	2.9%
高知市	→	幡多			91	2.9%
高知市	→	東部			90	2.9%

県外旅行者 3,137 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 12.3%と最も多く、次いで、「東部」のみが 8.5%、「幡多」のみが 8.4%、「物部川」のみが 6.2%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 4 位までを占めている。

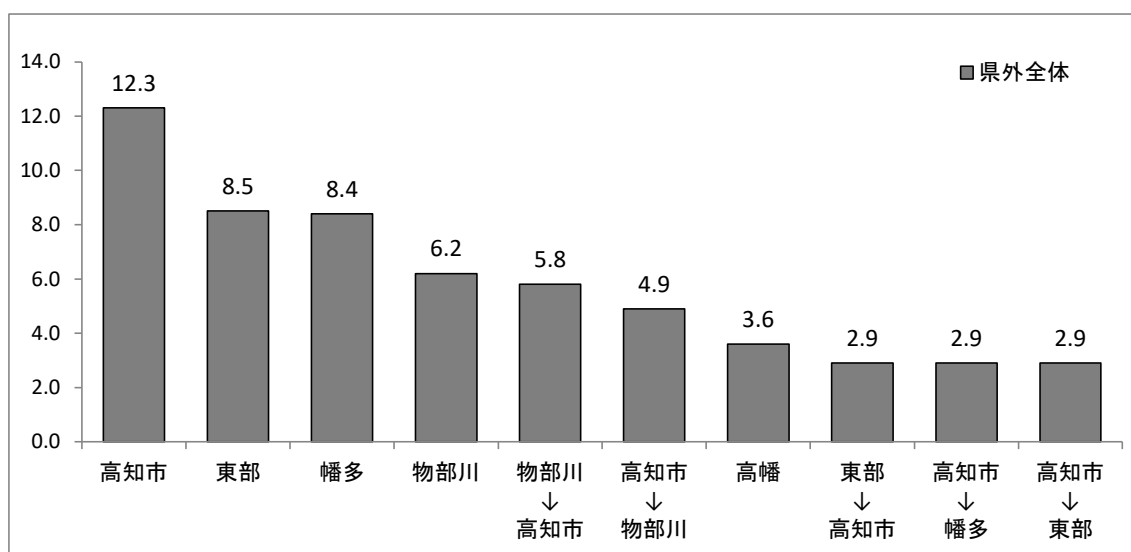
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 10.7%、「高知市」と「東部」の組み合わせが合計 5.8%、「高知市」と「幡多」の組み合わせが 2.9%と続いている。

(図 3-2)周遊ルート of 玄関口(%) [県外全体]



旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、高知市が 32.8%と最も多く、次いで、東部が 18.4%、物部川が 17.0%、幡多が 15.2%、高幡が 8.9%、仁淀川が 7.3%、嶺北が 0.5%と続いている。

(図 3-3)周遊ルート上位 10 位(%) [県外全体]



3-1-2. 四国

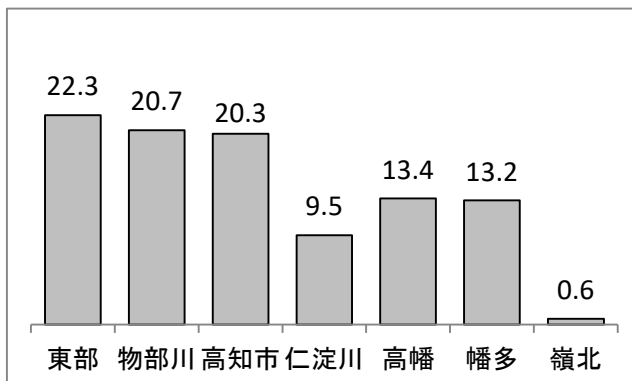
(表 3-4)周遊ルート上位 10 位(件・%) [四国3県]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	134	14.1%
高知市	102	10.7%
物部川	98	10.3%
幡多	95	10.0%
高幡	73	7.7%
物部川 → 高知市	59	6.2%
仁淀川	50	5.3%
高知市 → 物部川	43	4.5%
東部 → 物部川	34	3.6%
(対象多数のため省略)	23	2.4%

高知県をのぞく四国3県の旅行者 950 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 14.1%と最も多く、次いで、「高知市」のみが 10.7%、「物部川」のみが 10.3%、「幡多」のみが 10.0%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位5位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 10.7%、「東部→物部川」が 3.6%と続いている。

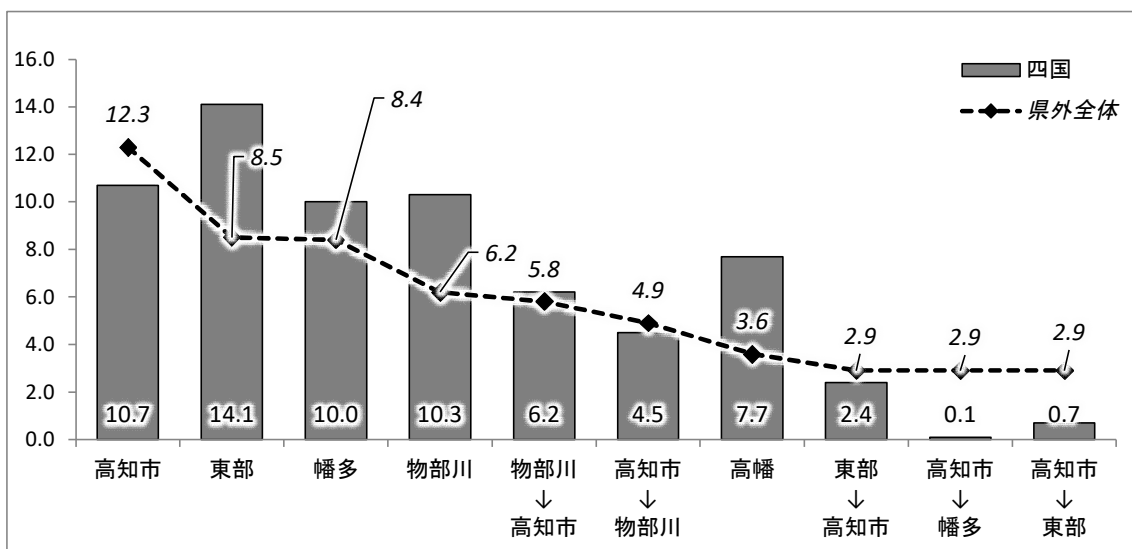
(図 3-5)周遊ルート of 玄関口(%) [四国3県]



旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、東部が 22.3%と最も多く、次いで、物部川が 20.7%、高知市が 20.3%、高幡が 13.4%、幡多が 13.2%、仁淀川が 9.5%、嶺北が 0.6%と続いている。

なお、東部と物部川の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P166・167:参考 2)。

(図 3-6)県外全体の上位 10 位との比較(%) [四国3県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、「東部」のみ、「物部川」のみなどが目立って多くなっている一方で、「高知市」のみは少なくなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市→幡多」や「高知市→東部」が目立って少なくなっている。

3-1-3. 近畿

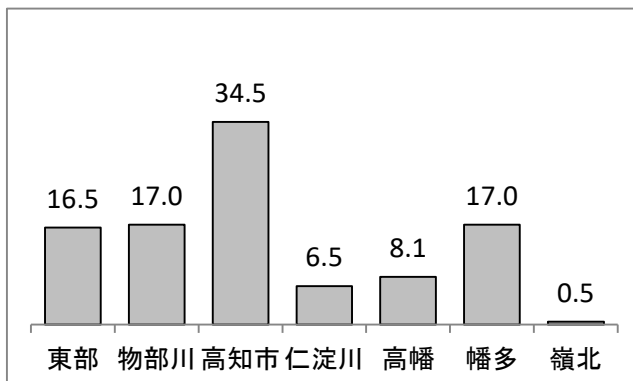
(表 3-7)周遊ルート上位 10 位(件・%) [近畿]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	92	10.9%
幡多	75	8.9%
東部	55	6.5%
物部川 → 高知市	53	6.3%
高知市 → 物部川	46	5.5%
物部川	40	4.7%
高知市 → 東部	34	4.0%
高知市 → 幡多	31	3.7%
東部 → 高知市	28	3.3%
幡多 → 高知市	22	2.6%

近畿ブロックの旅行者 843 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 10.9%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 8.9%、「東部」のみが 6.5%、「物部川→高知市」が 6.3%と続いている。

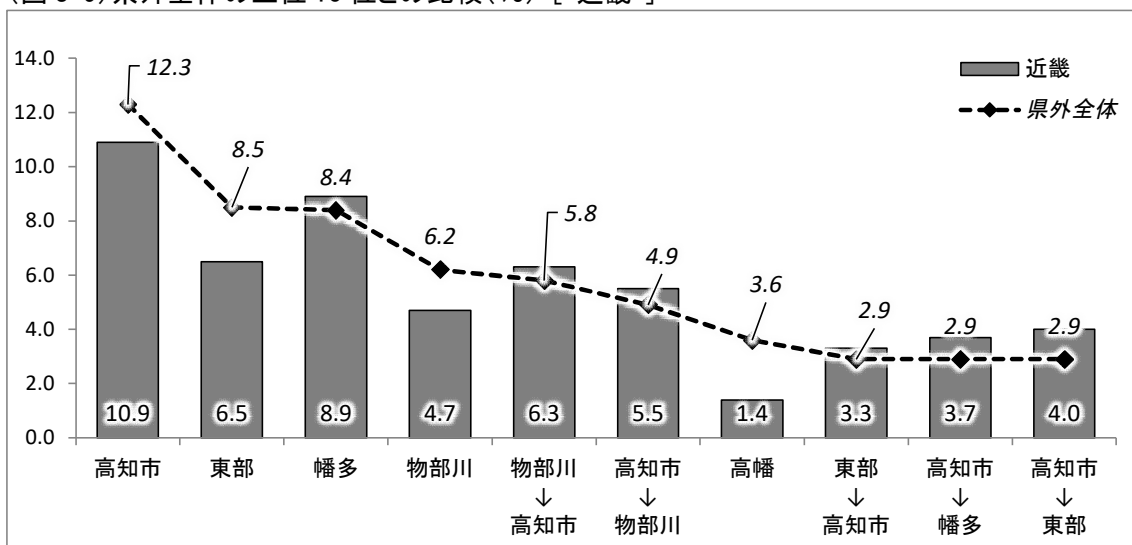
他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 11.8%、「高知市」と「東部」の組み合わせが合計 7.3%、「高知市」と「幡多」の組み合わせが合計 6.3%となっている。

(図 3-8)周遊ルート of 玄関口(%) [近畿]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、高知市が34.5%と最も多く、次いで、物部川と幡多がともに17.0%、東部が16.5%、高幡が8.1%、仁淀川が6.5%、嶺北が0.5%と続いている。

(図 3-9)県外全体の上位 10 位との比較(%) [近畿]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、「幡多」以外の単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って少なくなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、いずれの周遊ルートも県外全体と同水準となっている。

3-1-4. 中国

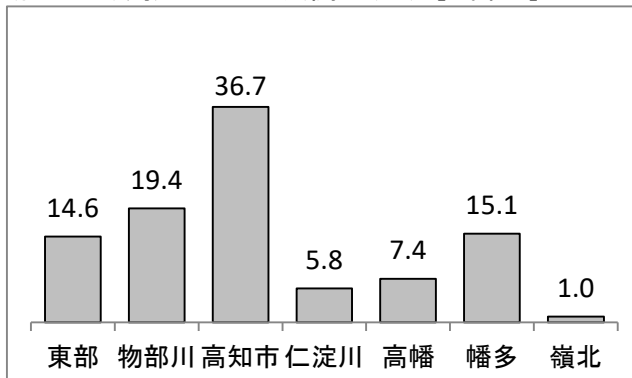
(表 3-10)周遊ルート上位 9 位(件・%) [中国]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	58	13.9%
幡多	41	9.8%
物部川 → 高知市	40	9.6%
東部	31	7.4%
物部川	27	6.5%
高知市 → 物部川	23	5.5%
高知市 → 東部	16	3.8%
高知市 → 仁淀川	14	3.4%
(対象多数のため省略)	13	3.1%

中国ブロックの旅行者 417 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 13.9%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 9.8%、「物部川→高知市」が 9.6%、「東部」のみが 7.4%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 15.1%、「高知市→東部」が 3.8%、「高知市→仁淀川」が 3.4%となっている。

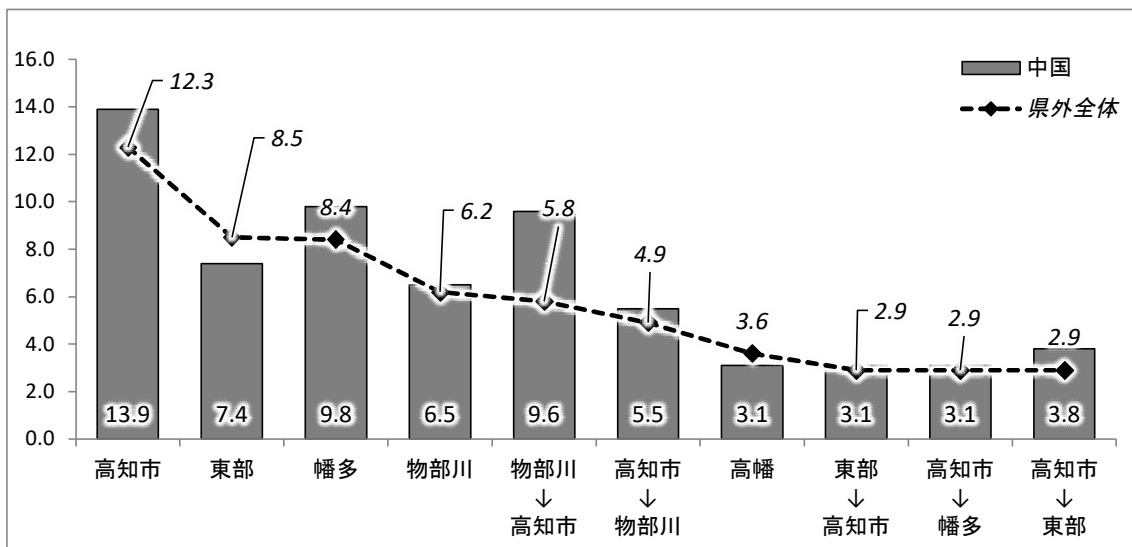
(図 3-11)周遊ルート of 玄関口(%) [中国]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、高知市が 36.7%と最も多く、次いで、物部川が 19.4%、幡多が 15.1%、東部が 14.6%、高幡が 7.4%、仁淀川が 5.8%、嶺北が 1.0%と続いている。

なお、嶺北の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P166・167:参考 2)。

(図 3-12)県外全体の上位 10 位との比較(%) [中国]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、「高知市」のみと「幡多」のみが多くなっている一方で、「東部」のみが少なくなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「物部川→高知市」が目立って多くなっている。

3-1-5. 関東

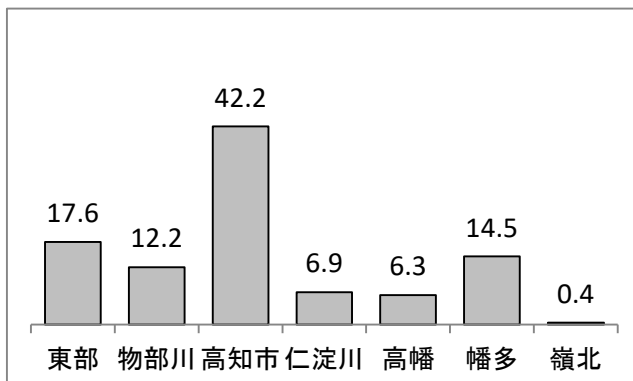
(表 3-13)周遊ルート上位 10 位(件・%) [関東]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	75	14.7%
幡多	28	5.5%
幡多 → 高知市	26	5.1%
高知市 → 幡多	23	4.5%
東部	22	4.3%
高知市 → 東部	20	3.9%
物部川 → 高知市	18	3.5%
物部川	18	3.5%
東部 → 高知市	18	3.5%
東部 → 高知市 → 幡多	17	3.3%

関東ブロックの旅行者 510 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 14.7%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 5.5%、「幡多→高知市」が 5.1%、「高知市→幡多」が 4.5%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが合計 9.6%、「高知市」と「東部」の組み合わせが合計 7.4%、「物部川→高知市」が 3.5%、「東部→高知市→幡多」が 3.3%となっている。

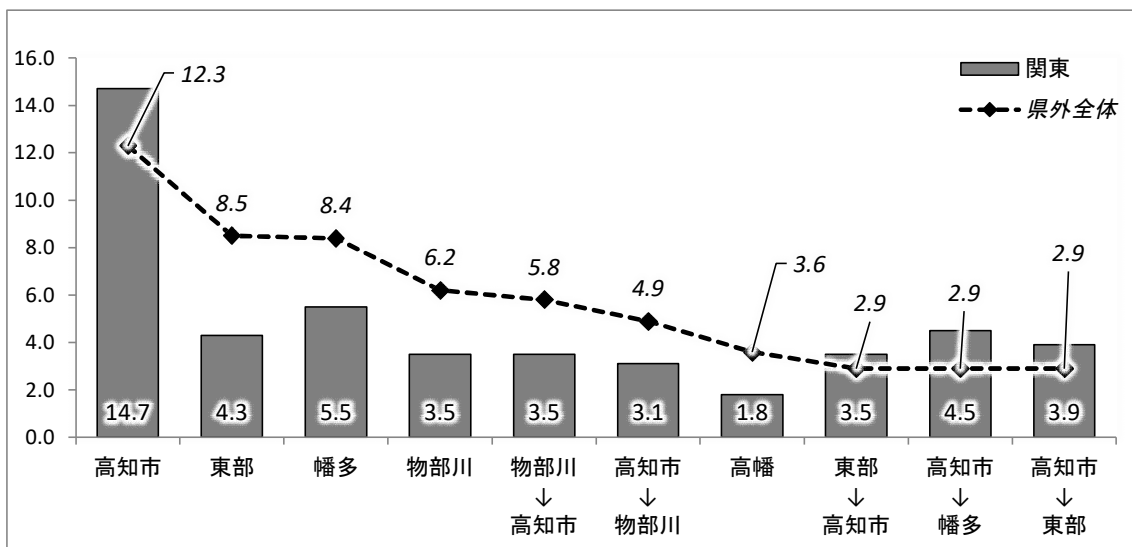
(図 3-14)周遊ルート of 玄関口(%) [関東]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、高知市が 42.2%と最も多く、次いで東部が 17.6%、幡多が 14.5%、物部川が 12.2%、仁淀川が 6.9%、高幡が 6.3%、嶺北が 0.4%と続いている。

なお、高知市の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P166・167:参考 2)。

(図 3-15)県外全体の上位 10 位との比較(%) [関東]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、「高知市」のみが目立って多くなっている一方で、その他の単一エリアは少なくなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「東部」を組み合わせた周遊ルートや「高知市→幡多」などが多くなっている一方で、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートは少なくなっている。

3-1-6. その他の地域ブロック(北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外)

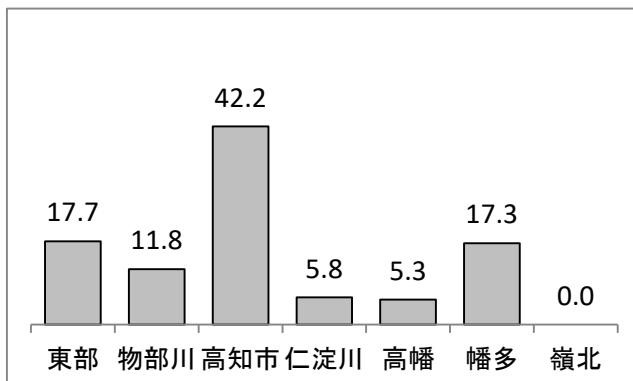
(表 3-16)周遊ルート上位 10 位(件・%) [その他の地域ブロック]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	58	13.9%
東部	25	6.0%
高知市 → 物部川	25	6.0%
幡多	24	5.8%
高知市 → 幡多	23	5.5%
幡多 → 高知市	17	4.1%
高知市 → 東部	13	3.1%
物部川 → 高知市	13	3.1%
東部 → 高知市 → 幡多	12	2.9%
物部川	11	2.6%

その他の地域ブロックの旅行者 417 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 13.9%と最も多く、次いで、「東部」のみと「高知市→物部川」が 6.0%、「幡多」が 5.8%と続いている。

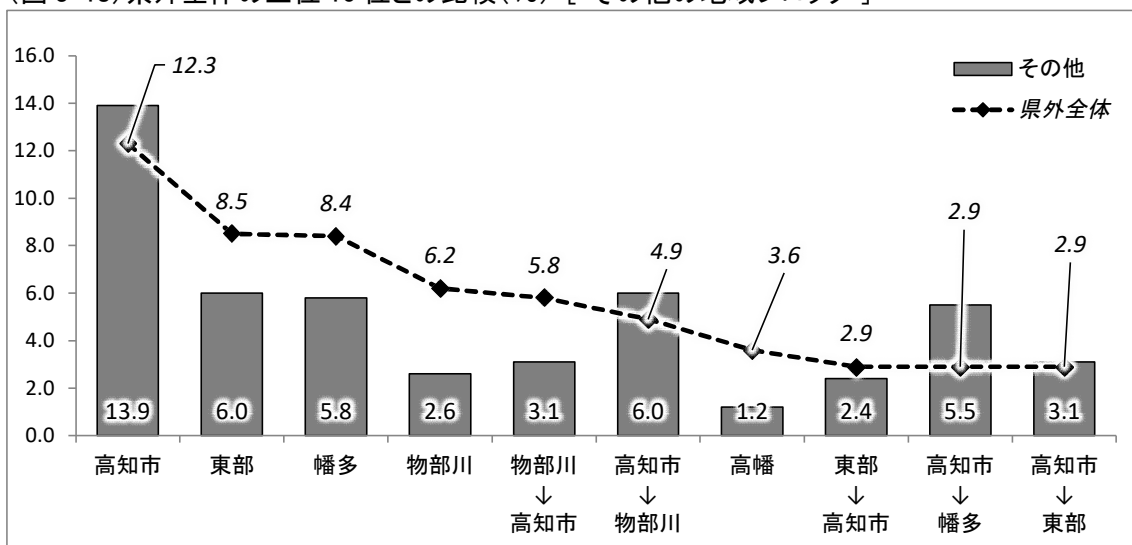
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが合計 9.6%、「高知市」と「物部川」の組み合わせが合計 9.1%、「高知市→東部」が 3.1%、「東部→高知市→幡多」が 2.9%となっている。

(図 3-17)周遊ルートの玄関口(%) [その他の地域ブロック]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、高知市が 42.2%と最も多く、次いで、東部が 17.7%、幡多が 17.3%、物部川が 11.8%、仁淀川が 5.8%、高幡が 5.3%と続いている。

(図 3-18)県外全体の上位 10 位との比較(%) [その他の地域ブロック]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、「高知市」のみが目立って多くなっている一方で、その他の単一エリアは少なくなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市→物部川」や「高知市→幡多」が多くなっている一方で、「物部川→高知市」が少なくなっている。

3-1-7. 高知県

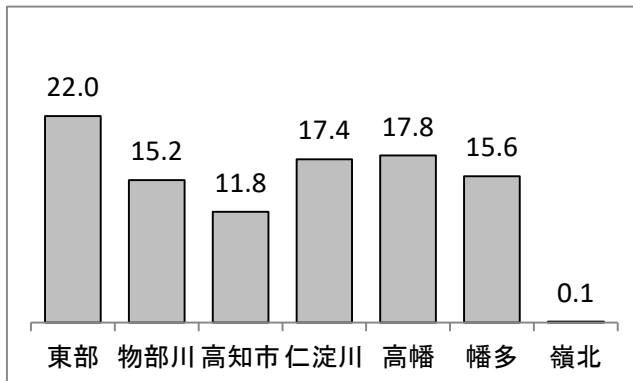
(表 3-19)周遊ルート上位 10 位(件・%) [県内]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	190	22.0%
仁淀川	147	17.0%
高幡	140	16.2%
物部川	126	14.6%
幡多	123	14.3%
高知市	91	10.5%
高幡 → 幡多	11	1.3%
幡多 → 高幡	10	1.2%
高知市 → 物部川	5	0.6%
物部川 → 高知市	4	0.5%

県内旅行者 863 組の周遊ルートをみると、「東部」のみで観光を終える割合が 22.0%と最も多く、次いで、「仁淀川」のみが 17.0%、「高幡」のみが 16.2%、「物部川」のみが 14.6%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位まで、割合では 94.6%と大半を占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高幡」と「幡多」を組み合わせた周遊ルートが合計 2.5%、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 1.1%と、いずれも少なくなっている。

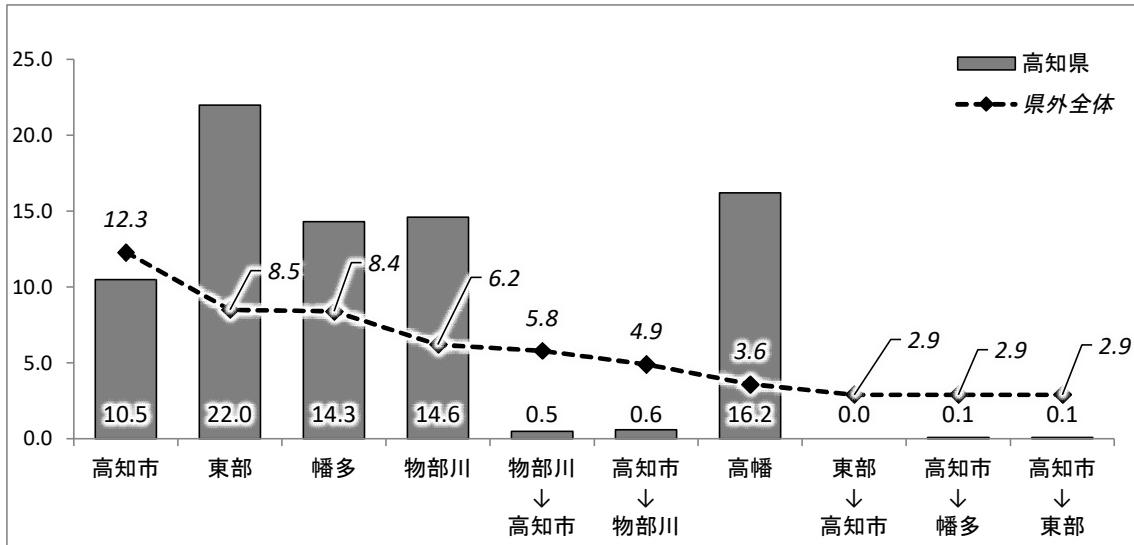
(図 3-20)周遊ルートの玄関口(%) [高知県]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、東部が 22.0%と最も多く、次いで、高幡が 17.8%、仁淀川が 17.4%、幡多が 15.6%、物部川が 15.2%、高知市が 11.8%、嶺北が 0.1%と続いている。

なお、仁淀川と高幡の割合が発地ブロック別で最も多くなっている(P166・167:参考 2)。

(図 3-21)県外全体の上位 10 位との比較(%) [高知県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、高知市以外の単一エリアが目立って多くなっている一方で、「高知市」のみが少なくなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、いずれの周遊ルートも少なくなっている。

3-2. 旅行形態別周遊ルート

3-2-1. 家族

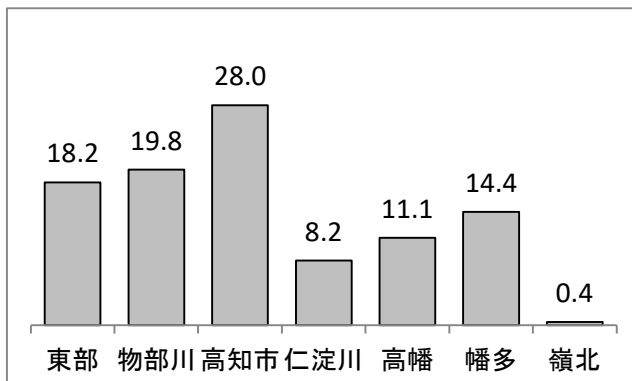
(表 3-22)周遊ルート上位 10 位(件・%) [家族]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	301	11.0%
東部	300	10.9%
物部川	267	9.7%
幡多	243	8.9%
高幡	169	6.2%
物部川 → 高知市	160	5.8%
高知市 → 物部川	136	5.0%
仁淀川	114	4.2%
高知市 → 東部	64	2.3%
高知市 → 幡多	60	2.2%

家族旅行 2,741 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 11.0%と最も多く、次いで、「東部」のみが 10.9%、「物部川」のみが 9.7%、「幡多」のみが 8.9%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位5位までを占めている。

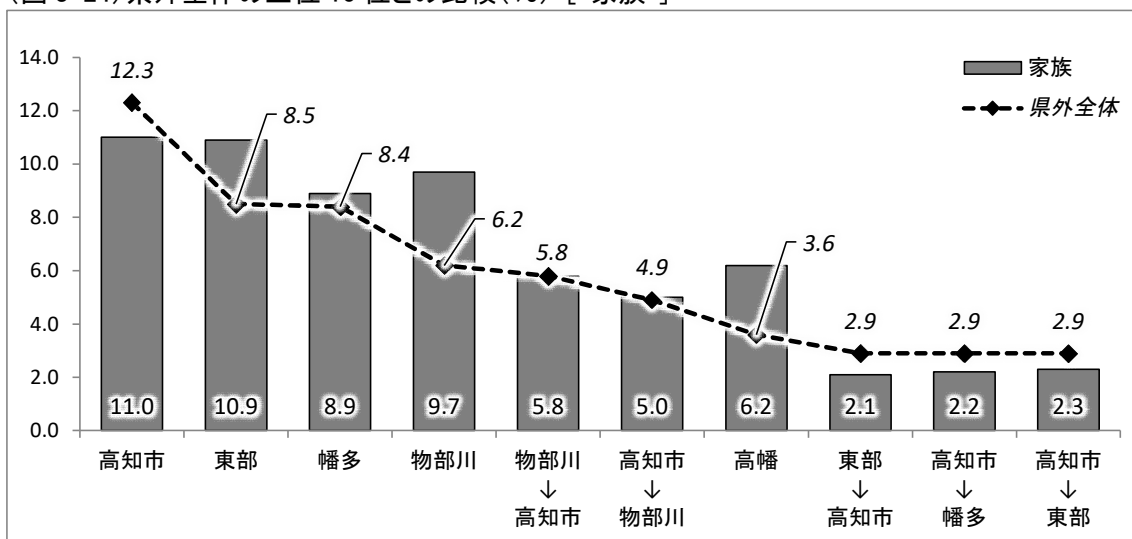
他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが合計 10.8%、「高知市→東部」が 2.3%、「高知市→幡多」が 2.2%と続いている。

(図 3-23)周遊ルート of 玄関口(%) [家族]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、高知市が 28.0%と最も多く、次いで、物部川が 19.8%、東部が 18.2%、幡多が 14.4%、高幡が 11.1%、仁淀川が 8.2%、嶺北が 0.4%と続いている。

(図 3-24)県外全体の上位 10 位との比較(%) [家族]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、高知市以外の単一エリアが多くなっている一方で、「高知市」のみが少なくなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「東部→高知市」や「高知市→幡多」などが少なくなっている。

3-2-2. 友人・知人

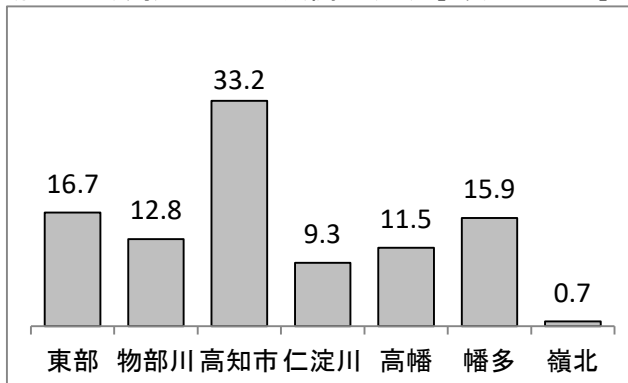
(表 3-25)周遊ルート上位 10 位(件・%) [友人・知人]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	82	13.8%
幡多	57	9.6%
東部	54	9.1%
高幡	44	7.4%
物部川	33	5.6%
高知市 → 仁淀川	28	4.7%
仁淀川	23	3.9%
仁淀川 → 高知市	18	3.0%
物部川 → 高知市	17	2.9%
東部 → 高知市	17	2.9%

友人・知人との旅行者 593 組の周遊ルートをみると、「高知市」のみで観光を終える割合が 13.8%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 9.6%、「東部」のみが 9.1%、「高幡」のみが 7.4%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「仁淀川」を組み合わせた周遊ルートが合計 7.7%、「物部川→高知市」と「東部→高知市」がともに 2.9%となっている。

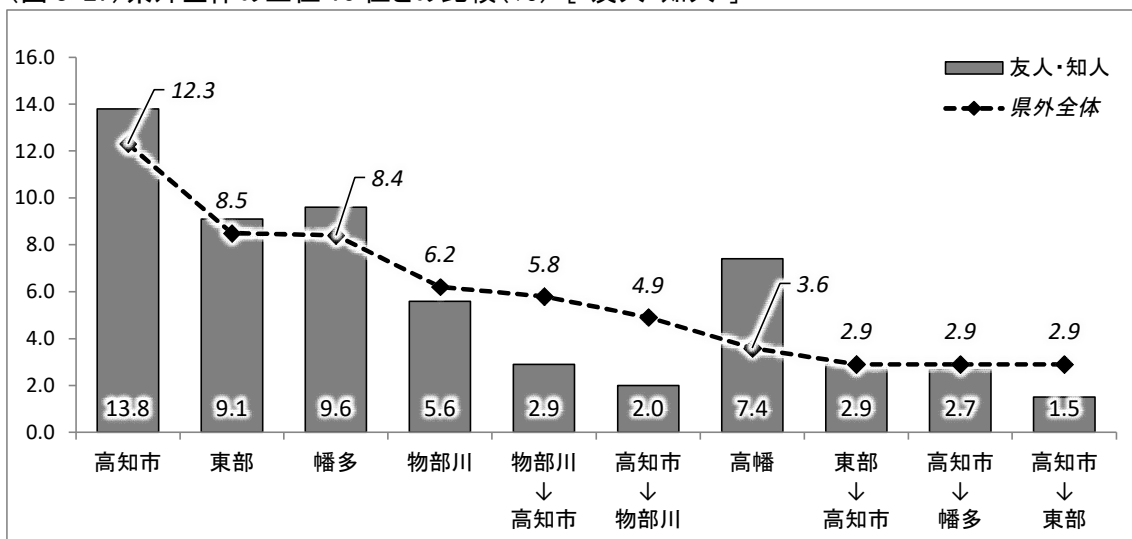
(図 3-26)周遊ルート of 玄関口(%) [友人・知人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、高知市が 33.2%と最も多く、次いで、東部が 16.7%、幡多が 15.9%、物部川が 12.8%、高幡が 11.5%、仁淀川が 9.3%、嶺北が 0.7%と続いている。

なお、高知市、高幡、嶺北の割合が旅行形態別で最も多くなっている(P166・167:参考 2)。

(図 3-27)県外全体の上位 10 位との比較(%) [友人・知人]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、「高幡」のみや「高知市」のみなどが多くなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートや「高知市→東部」が少なくなっている。

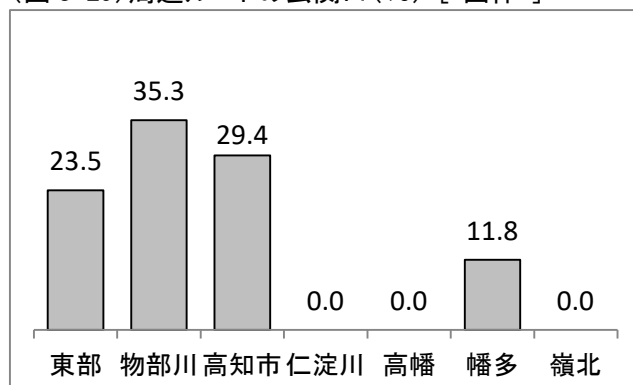
3-2-3. 団体

(表 3-28)周遊ルート上位8位 (件・%) [団体]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
東部	4	23.5%
高知市	3	17.6%
幡多	2	11.8%
物部川 → 高知市	2	11.8%
高知市 → 物部川	2	11.8%
物部川 → 東部	2	11.8%
物部川	1	5.9%
物部川 → 高知市 → 仁淀川	1	5.9%

団体旅行 17 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 23.5%と最も多く、次いで、「高知市」のみが 17.6%、「幡多」のみ、「物部川→高知市」、「高知市→物部川」、「物部川→東部」がそれぞれ 11.8%、その他の周遊ルートが 5.9%と続いている。

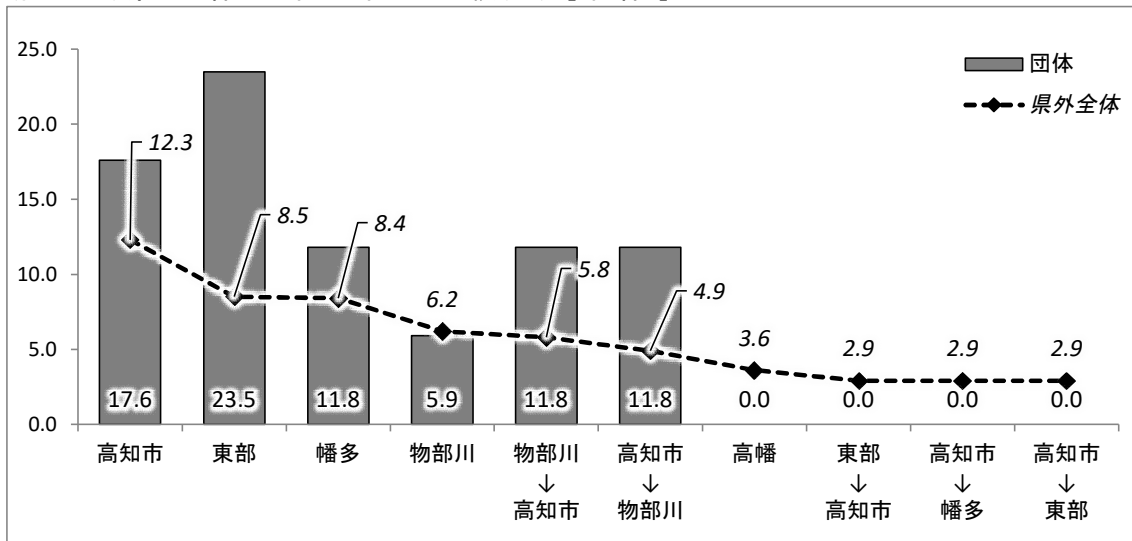
(図 3-29)周遊ルートの玄関口(%) [団体]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、物部川が 35.3%と最も多く、次いで、高知市が 29.4%、東部が 23.5%、幡多が 11.8%と続いている。

なお、物部川の割合が旅行形態別で最も多くなっている(P166・167:参考 2)。

(図 3-30) 県外全体の上位 10 位との比較(%) [団体]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、「東部」のみや「高知市」のみ、「幡多」のみが目立って多くなっている一方で、「高幡」のみが少なくなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが目立って多くなっている一方で、それ以外の周遊ルートが少なくなっている。

3-2-4. 一人

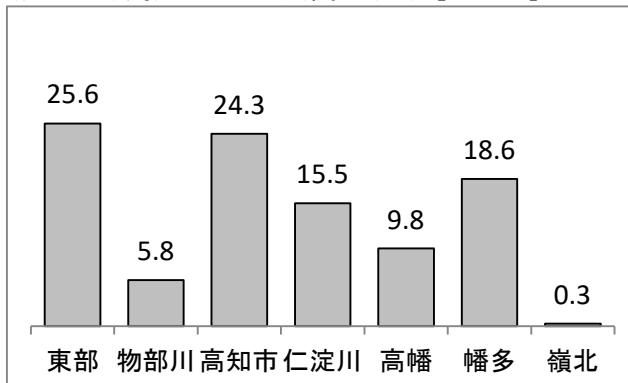
(表 3-31)周遊ルート上位 10 位(件・%) [一人]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	人数	割合
東部	97	15.3%
高知市	86	13.6%
仁淀川	83	13.1%
幡多	81	12.8%
高幡	39	6.2%
物部川	19	3.0%
高知市 → 東部	18	2.8%
東部 → 高知市	16	2.5%
高知市 → 幡多	13	2.1%
東部 → 高知市 → 幡多	13	2.1%

一人旅の旅行者 633 人の周遊ルートをみると、「東部」のみで観光を終える割合が 15.3%と最も多く、次いで、「高知市」のみが 13.6%、「仁淀川」のみが 13.1%、「幡多」のみが 12.8%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位6位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートをみると、「高知市」と「東部」を組み合わせた周遊ルートが合計 5.3%、「高知市→幡多」と「東部→高知市→幡多」がともに 2.1%となっている。

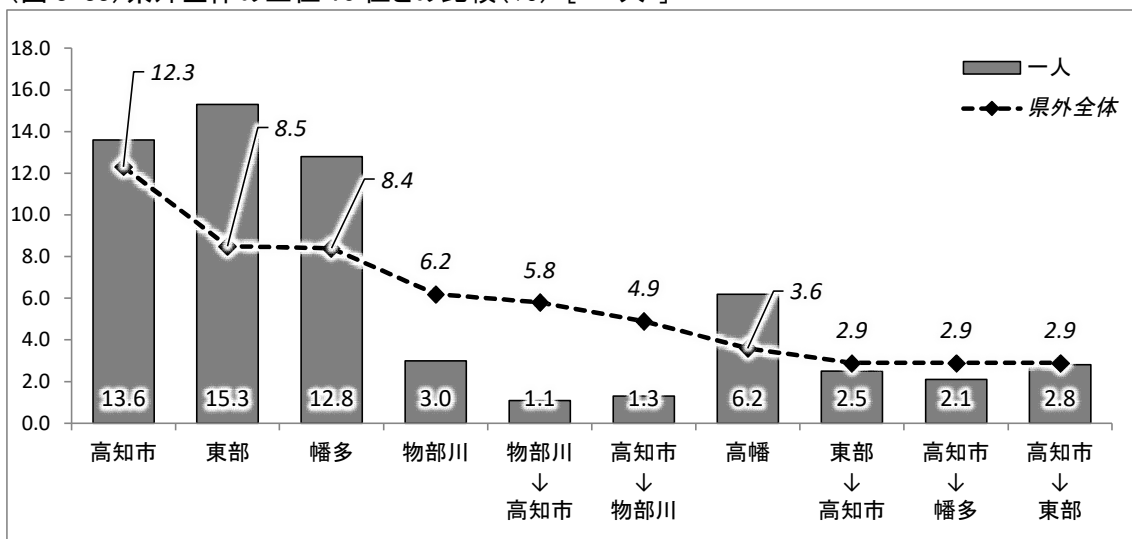
(図 3-32)周遊ルート of 玄関口(%) [一人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、東部が 25.6%と最も多く、次いで、高知市が 24.3%、幡多が 18.6%、仁淀川が 15.5%、高幡が 9.8%、物部川が 5.8%、嶺北が 0.3%と続いている。

なお、東部、仁淀川、幡多の割合が旅行形態別で最も多くなっている(P166・167:参考 2)。

(図 3-33)県外全体の上位 10 位との比較(%) [一人]

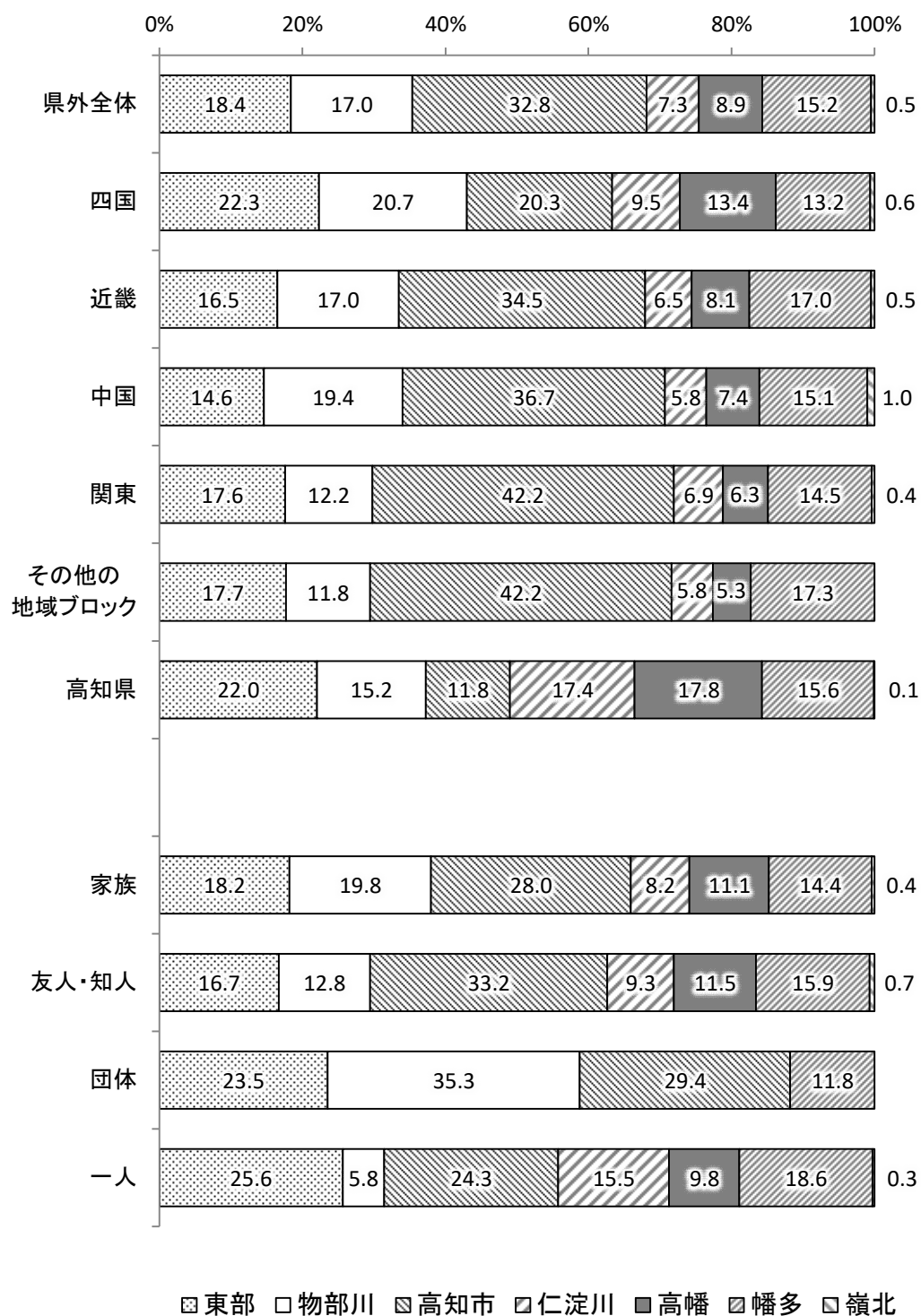


県外全体の上位 10 位との比較をみると、「幡多」と「東部」の単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている一方で、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートや「物部川」のみなどが少なくなっている。

単一エリアで観光を終える周遊ルートでは、「東部」のみや「幡多」のみ、「高幡」のみなどが目立って多くなっている一方で、「物部川」のみが少なくなっている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが目立って少なくなっている。

(参考 1)発地ブロック別・旅行形態別周遊ルート of 玄関口 (%)



(参考 2)エリア別周遊ルート of 玄関口 (%)

